

移住×起業プロジェクト「ならわい」2022



更新日：2024年9月9日更新

「ならわい」とは



近年、暮らし方や働き方への意識の変化、都市部から地方への関心が高まる中で、「奈良市に移住し起業する」という働き方のきっかけを提案するため、県外居住者を対象としたプロジェクトを、2022年度から奈良市の創業支援施設「BONCHI」を拠点に始めました。

本事業では、約4か月間今の住まいに居住しながら、奈良市での活動とオンラインでの活動を併用し、地元企業の新規事業に取り組みます。プログラムにチャレンジするだけでなく、地域のプレイヤーと繋がりを作る機会でもあり、奈良で働く・暮らすことに対する不安を払拭し、将来の移住や起業に向けた機会になることを目的としています。

自身の経験が役立つ・やっていけるという実感を持てる機会になる実践型プログラムです。



ならわい2022の詳細については[「ならわい」公式HP](#) <外部リンク> からご確認いただけます。

プログラム概要



1グループ3名で地元企業3社の新規事業にチャレンジします。各企業ごとにメンターが付き、事業計画づくり、広報など、はじめての取り組みをサポートします。事務局（運営）はBONCHIを運営する一般社団法人TOMOSUが行います。

受入先企業・新規事業内容

- 岡井麻布商店
手織り麻のサブスクも？！「奈良晒」のつくり手と、二人三脚でライフスタイルを描く
- 啓林堂書店
探す、出会う、読む、保管する、手放す。読書生活の全てに寄りそう事業開発を

- ・ 清澄の里 粟

種から育てる母の味。藁灰こんにやくを顔の見える人たちに届けるデザイン

プロジェクトの様子



オリエンテーション@

2022年10月15日にキックオフした第1回目のならわい。日本各地から様々なバックグラウンドを持つ参加者が奈良市創業支援施設BONCHIに集まりました。自己紹介から始まり、“お互いを知る”ためのワークを実施しました。



受入先企業訪問

まずは事業を知ることから。2022年10月16日に各受け入れ先を訪問しました。

岡井麻布商店



清澄の里 粟



啓林堂書店



最終発表会

2022年10月より約4ヵ月にわたり取り組んできた成果を受入先企業に提案する最終発表会を2023年1月14日に開催しました。参加者は今の住まいに居住しながら奈良市での活動とオンラインでの活動を併用し、取り組んできた成果を熱く発表しました。発表後は受入先企業と今後の関わり方についての話にも花が咲いていました。

